

## 新製品開発状況(2026年1月23日現在)

- ・ 米国を含む複数の国で開発している場合、「地域/国」にグローバルと記載しています。
- ・ 「地域/国」がグローバルの場合、全ての地域・国のうち、最も進んでいる開発段階を記載しています。
- ・ 「開発段階」が申請以降の場合、「地域/国」は、原則、日本、米国、欧州、中国、アジア(日本、中国を除く)を記載しています。(すべての地域/国の開発状況を記載しているわけではありません)
- ・ 「変更点」の○は前回発表(2025年10月24日時点)から変更があったことを示しています。

### 中枢神経

治験コード 製品名 (一般名)	作用機序等	予定適応症	地域/国	開発段階	変更点	起源/導出先等
MP-214 (カリプラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト	成人大うつ病性障害(MDD)患者の治療における抗うつ薬の補助療法	インドネシア	承認 (2025年12月)	○	ゲデオンヒター(ハンガリー)から導入
MT-210	セロトニン2A/シグマ2 受容体拮抗剤	統合失調症	米国	申請		ミネルバ・ニューロサイエンス(米) へ導出
			欧州	フェーズ 3		
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ製剤	パーキンソン病	グローバル	フェーズ 3		自社創製品
			米国	申請		
			欧州	申請		
MT-1186 ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤(経口懸濁剤)	筋萎縮性側索硬化症: ALS	韓国	承認 (2025年12月)	○	自社創製品
MT-0551 ユプリズナ (イネピリズマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤	重症筋無力症	日本	申請		アムジェン(米)から導入、共同開発
MT-3921	抗RGMa抗体	脊髄損傷	グローバル	フェーズ 2		大阪大学(日)と共同で創製
		HTLV-1関連脊髄症	日本	フェーズ 1		

## 免疫炎症

治験コード 製品名 (一般名)	作用機序等	予定適応症	地域/国	開発段階	変更点	起源/導出先等
MT-0551 ユプリズナ (イネピリズマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤	IgG4関連疾患	日本	承認 (2025年11月)	○	アムジェン(米)から導入、 共同開発
		全身性強皮症	日本	フェーズ 3		アムジェン(米)から導入
MT-7117 (デルシメラゴン)	選択的メラノコルチン1受容体作動剤	赤芽球性プロトポルフィリン症、 X連鎖性プロトポルフィリン症	グローバル	フェーズ 3		自社創製品
		全身性強皮症	グローバル	フェーズ 2		
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33)モノクローナル抗体製剤	ANCA関連血管炎	日本	フェーズ 1		自社創製品
MT-3534	抗体製剤	自己免疫疾患	日本	フェーズ 1		ファーマフーズ(日)と共同で創製

## がん

治験コード 製品名 (一般名)	作用機序等	予定適応症	地域/国	開発段階	変更点	起源/導出先等
MT-2111 (ロンカスツキシマブ テシリン)	抗CD19抗体薬物複合体	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(単剤療法)	日本	フェーズ 1/2		ADCセラピューティクス(スイス)から導入
		再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(リツキシマブとの併用療法)	日本	フェーズ 3		ADCセラピューティクス(スイス)から導入、 共同開発(グローバル試験実施中)
MT-4561	BRD4分解誘導	進行性固形がん	グローバル	フェーズ 1/2		自社創製品

## その他

治験コード 製品名 (一般名)	作用機序等	予定適応症	地域/国	開発段階	変更点	起源/導出先等
MT-2412 カナリア (テネリグリプチン臭化水素 酸塩水和物、カナグリフロジ ン水和物)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤	2型糖尿病	アジア	申請		自社創製品